



香川大学工学部ニュース

No. 19, 2006.4.30

工学研究科から初の博士誕生

平成 18 年 3 月 24 日、香川大学大学院の修士及び博士の学位授与式が幸町キャンパスの大学会館で行われました。工学研究科からは第 1 期生の博士後期課程修了者（博士）4 人と第 3 期生同博士前期課程修了者（修士）83 人が誕生しました。平成 10 年度 1 期生入学以来、同 14 年 3 月には第 1 期学士、同 16 年 3 月には同修士と順調に学士・修士を卒業させてきましたが、同 18 年 3 月はじめて工学博士の誕生に至ったものです。特に今回の博士学位授与者は大学院博士後期課程を 2 年間で早期修了したもので



卒業式での学長祝辞

で優秀な学生です。このうち 2 人は安全システム建設工学専攻生、他の 2 人は材料創造工学専攻生で 4 人とも社会人大学院生でした。これで工学部は教育機関として名実共に完成の域に達したことになり、今後一層の充実した教育研究の発展が期待されます。

平成 17 年度卒業式・修了式と平成 18 年度入学式

3 月 24 日、工学部卒業式及び大学院工学研究科博士前期・後期課程の修了式が行われました。今年は学部 5 期生 236 名と博士前期課程 2 期生 83 名、博士後期課程 1 期生（早期修了者）4 名が卒業、修了しました。また、表のとおり学生表彰及び受賞披露が行われました。4 月 5 日には 18 年度入学式が行われ、学部 272 名、大学院博士前期課程 104 名、後期課程 19 名が新たに入学し、学部 3 年次に 20 名の編入生を迎えました。

工学部長賞	井芝瑠美（安） 中畑将吾（信） 鈴木勝順（知） 大庫千春（材）
後援会長賞	稲井太郎（安） 鶴身悠子（信） 橋本佳子（知） 揺本沙紀（材）
工学部特別賞	庄司龍（知） 宮本真太郎（知）（理科実験教室、ロボット製作教室などの地域の学校を対象とした体験型教室 など）
受賞披露	地盤工学会四国支部表彰：西野勝裕（安・院） / 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会 四国支部奨励賞：倉田英和（信） 石井崇史（信・院） / 日本機械学会 畠山賞：鈴木勝順（知） / 電気学会 優秀論文発表賞：廣安毅久（知） / 精密工学会第 10 回知能メカトロニクスワークショップ ベストプレゼンテーション賞：吉田真（知） 井上祐介（知・院） / 精密工学会 沼田記念論文賞：奥田貴啓（知・院） / 日本機械学会 三浦賞：井上祐介（知・院） / 日本塑性加工学会 学生奨励賞：日野彰俊（知・院） / 日本鉄鋼協会・日本金属学会 奨学賞：辻一誠（材）

先端工学研究発表会を開催

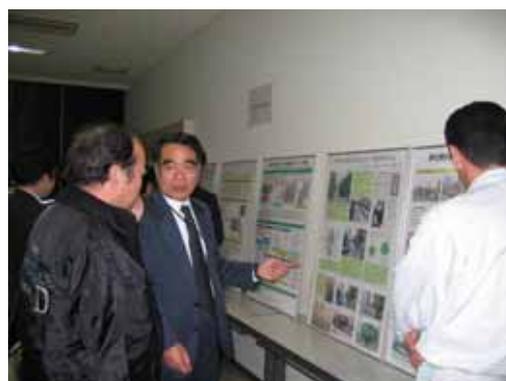
平成 18 年 1 月 26 日（木）に「先端工学研究発表会」を開催しました。地域に立脚する研究開発を志す工学部には、これまでも「大学での先端的研究内容を分かりやすく紹介してほしい」などの要望が寄せられてきました。本研究発表会では、工学部の 4 学科から 20 課題、および微細構造デバイス統合研究センターから 1 課題を紹介しました。県内企業、研究機関、学内関係者ら約 150 人の多くの参加者がありました。発表の後、パネル展示による質疑応答の場も設けました。

アンケートでは、「地域の企業にとって、身近な大学での研究内容を知ることは新しいビジネスチャンス、地元の発展に繋がる」など、本発表会は意義があるとの意見が多く出されました。

今後は、議論する時間を多くするなどの工夫をして、より実りある会にするよう次年度も継続実施したいと考えています。（研究企画担当 大平文和）



発表会



パネル展示

国際インターンシップ報告 インターンシップ体験談 2005 in ドイツ

私は 2005 年 9 月から 2006 年 2 月まで約 6 カ月間、ドイツのボンという街で、国際インターンシップを体験してきました。文化の違い、言葉の問題もあり、最初は、レストランに行き注文する、スーパーマーケットに行き買い物をし、駅でチケットを買うなどの日常生活を送るだけでも大変でした。しかし、友達や環境にも恵まれ、ドイツの生活にも順応することができました。本場のサッカー観戦をしたり、オペラを見に行ったり、お祭りに参加したりと、日本ではできないことも、たくさん経験することができ、エキサイティングな毎日を送ることができました。仕事の方は、ドイツの企業で、自動車のエアバックに使用される歪センサーの開発を手伝わせて頂きました。今回、海外の企業で働いたことで、日本の企業と海外の企業を比較することができたことも、非常に良かったです。今回の経験をいかし、今後は国際学会にも積極的に参加しようと考えています。

（博士後期課程 1 年次 材料創造工学専攻 大久保雄司）



受入企業



同僚たち

定年退職教員

材料創造工学科 江原 隆一郎



1999年4月から材料創造工学科に勤務していましたが定年を迎えました。お蔭様で充実した7年間を過ごすことができました。引き続き4月から広島工業大学工学部大学院知的機能科学専攻に勤務いたします。香川大学工学部の益々の発展と皆様のご活躍を祈念いたしております。

材料創造工学科 角田 直人

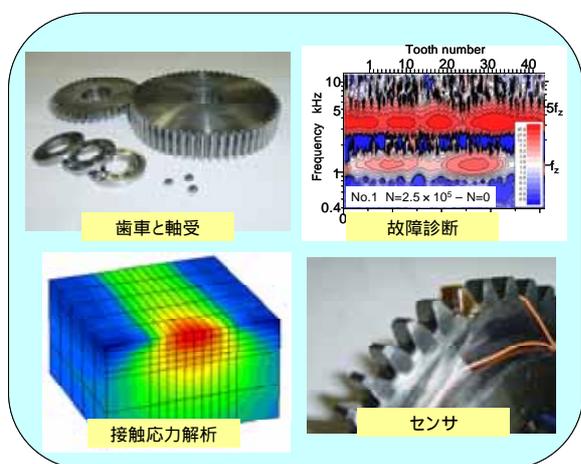


長いようで短かった37年間の教員生活が終わりました。この間に経験した多くの学生や先生方との交わりは私の財産です。学生と直に関わる仕事を離れる寂しさはありますが、現代学生気質に少し違和感を持つ昨今、若い人に教育を託す潮時だとも感じております。

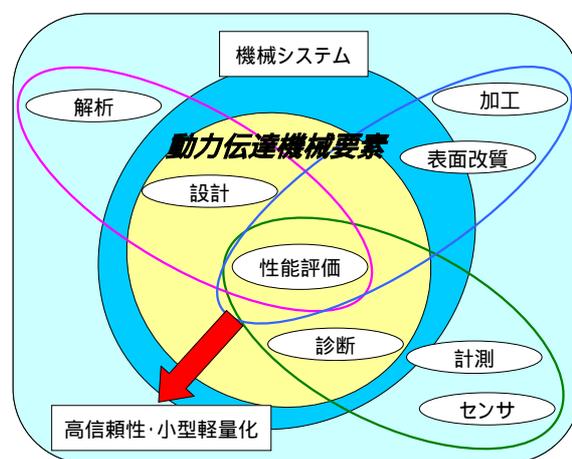
研究室紹介：知能機械システム工学科 大上研究室

当研究室は、知能機械システム工学科造形工学講座に属しています。

自動車やロボットなどの機械システムでは、動力源からの運動と力の伝達を行う歯車や軸受などの機械要素が数多く用いられています。その動力伝達の基礎となる機械要素には高信頼性、小型軽量化などが求められます。研究室では、歯車や軸受などを対象として、その性能評価、診断、設計技術とそれらの基礎となる解析・計測技術、加工法などの開発を目指して、教育と研究を行っています。現在、学部生4名とともに、直径数十mmの微粒子投射加工を機械要素の表面に施したり、従来の鋼よりも高強度な材料を機械要素に適用して、機械要素の信頼性と強度向上法について研究しています。また、機械要素は、2つの面が滑りながら接触しており、その接触状態を計測することができれば、機械要素の故障が早期に検出することが可能となるため、接触状態を計測するためのセンサ開発も進めています。



研究内容



研究室の目指すもの

定着する児童・生徒の理科クラブ支援活動

これまでも本学部では児童、生徒向けの様々な教育・支援活動をしてきました。本年も高校生を招いての公開講座や、近隣の小学校科学クラブの指導・支援などが計画されています。

知能機械システム工学科の石原助教授の指導により、積極的な学生が林小学校ふるさとクラブの理科実験などの活動を、昨年に引き続き支援することになりました。



公民館での科学教室

ホームページ一新

工学部では、本年4月より、ホームページのデザインを一新しました。以前のホームページは工学部学生からの募集によるもので、細部に学生の工夫とこだわりがありましたが、今回はより多くの皆様に使いやすくアクセスしていただけるよう、大学本部と構成を統一し、シンプルなものに仕上げました。今後とも積極的に情報発信を行って参りますので、お気軽にホームページを訪問してください。

(<http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/>) (広報室)



新しいトップページ

トピックス

学術賞受賞等

- 1月25日(水) 長谷川修一 教授 感謝状 (愛媛大学)
- 3月16日(木) 八十川利樹 (M1) (指導教員 石丸 伊知郎) 論文賞 ((社)精密工学会)
- 3月16日(木) 奥田 貴啓(M2) (指導教員 石丸 伊知郎) 沼田記念論文賞 ((社)精密工学会)
- 3月16日(木) 藤中 真吾(M2)(指導教員 国重 和俊、上路 林太郎)
優秀学生賞 ((社)日本鉄鋼協会中国四国支部)

教員人事

定年退職：江原隆一郎 教授、角田直人 教授 転出：仲谷英夫 教授
昇任：山中 稔 助教授、香川 考司 助教授、安藤 一秋 助教授、尹 禮分 助教授、掛川 寿夫 教授、
馮旗 教授

新学科長 4学科ともに学科長が交代しました。

安全システム建設工学科	松島 学
信頼性情報システム工学科	服部 哲郎
知能機械システム工学科	土居 俊一
材料創造工学科	江島 正毅

編集：工学部広報室
電話：087-864-2000
FAX：087-864-2032
e-mail:info@eng.kagawa-u.ac.jp
<http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/>